

◆水質事故対策訓練を行いました

多摩川・鶴見川・相模川では、油類や化学物質等の流出による水質事故が、毎年50件程度発生しています。

水質事故が発生した場合には、被害の拡大を防止することや発生原を調査し、適切な対応を図る必要があります。このため、関東地方水質汚濁対策連絡協議会多摩川・鶴見川・相模川部会（構成メンバー：東京都、神奈川県、山梨県及び関係市と国土交通省）では、11月17日に43名が参加して水質事故対策訓練を行いました。具体的な訓練としては、油の流出拡大を防ぐオイルフェンス展張訓練（オイルマットの設置も含む）及び原因物質を特定するための簡易水質測定訓練を実施しました。

今後も水質事故発生時には、関係機関が連携し、迅速な対応と連絡調整に取り組んで参ります。



オイルフェンス展張訓練実施状況



簡易水質測定訓練実施状況